

報告

屋鈍遺跡(2018年調査)で出土した脊椎動物遺体の概要

樋泉岳二¹⁾・竹中正巳²⁾

1) 101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 明治大学

3) 890-8565 鹿兒島市高麗町 6-9 鹿兒島女子短期大学

屋鈍遺跡 2018 年度の発掘調査では、3 トレンチと 5 トレンチを中心に各トレンチから動物骨や貝類、陶磁器類が出土した(竹中ほか 2022)。本報告書中では、屋鈍遺跡で出土した貝類について報告がなされているが(黒住ほか 2023)、本稿では、屋鈍遺跡から出土した脊椎動物遺体(魚骨・鳥獣骨など)の概要について報告する。

分析方法については、出土資料の中から部位をある程度特定できるものを抽出して同定対象とした。ただし鳥獣類の四肢骨で骨幹の全周を残さない破片は除外した。同定は基本的に現生標本との比較によって行った。

同定結果を表 1 に示す。同定対象となった資料数(NISP. ヒトの可能性のある資料を除く)は合計 75 点であった。層位的には 3 層が 8 点、近現代層(3 層より上位)が 67 点で、後者が大半を占める。分類群別にみると魚類が 16 点、爬虫類が 10 点、鳥類が 3 点、哺乳類が 44 点で、哺乳類が過半を占め、魚類がこれに次ぐ。

それぞれの内訳をみると、魚類ではサメ類(ネズミザメ科・メジロザメ型)、ハタ科、アオブダイ属、カツオ、カマスサワラが確認された。ネズミザメ科の椎骨にはきわめて大型のものがみられた。

爬虫類ではウミガメ 9 点(ただしこのうち 6 点は詳細な位置が不明の甲板破片)、大型のヘビ類 1 点の確認された。鳥類ではニワトリ 1 点、ニワトリ以外の未同定鳥類 1 点の確認されたほか、詳細な同定が困難な椎骨が 1 点ある。

哺乳類では、種名を特定できたものでみるとイノシシまたはブタが 14 点、ウシが 11 点と多く、他にネコ 3 点、ヤギ・イヌ・ネズミ各 1 点の確認された。なおイノシシまたはブタについては、一見してブタとわかるものを「ブタ」、形態的には判別が微妙なものを「イノシシ/ブタ」とした。後者の多くもブタの可能性が強いと思われるが、現生リュウキュウイノシシと同様の小型の個体で骨質緻密なものも

あり、これらについては野生イノシシの可能性も考えられる。

なお鳥類・哺乳類については、今回は時間的な制約などにより現生標本との比較検討を十分に行う余裕がなかったため未同定資料が多く残ってしまったが、これらも精査すれば種名を特定できる可能性がある。

文献

竹中正巳・鐘ヶ江賢二・大西智和・渡 聡子・鼎 丈太郎・鼎 さつき 2022 「奄美大島屋鈍遺跡発掘調査報告」『鹿兒島国際大学ミュージアム調査研究報告』19:17-32

表1 屋鈍遺跡(2018年調査)出土脊椎動物遺体の同定結果

* 残存位置凡例 w 完形, p 近位端, (p-) 近位端未融合脱落, m: 骨幹部, d 遠位端, (d) 遠位端(未融合), (d-) 遠位端未融合脱落,
 <d-> 遠位端欠損, fr 破片, [] 顎骨残存範囲, x 脱落歯

層準	トレンチ	種類	部位	残存位置*	左右	数	損傷	備考
3層	2トレ南東隅	ウシ	肩甲骨	関節部	R	1		
3層人骨周辺	4トレ	ハタ科	擬鎖骨		R	1		小型
3層人骨周辺	4トレ	ヘビ	椎骨			1		大型
3層人骨周辺	4トレ	ニワトリ	脛骨	m-d	R	1		
3層人骨周辺	4トレ	鳥類未同定	基節骨			1		ニワトリではない
3層人骨周辺	4トレ	小型哺乳類未同定	下顎骨	[i-m]全歯×	R	1		幼獣、イヌ?
3層人骨周辺	4トレ	イノシシ/ブタ	尺骨	(d)		1		
3層人骨周辺	4トレ	ウシ/ウマ	胸椎	椎弓		1		
2層	4トレ	ウシ/ウマ	胸椎	椎弓		1		
近現代層(3層より上)	2トレ拡張	ハリセンボン科	棘			1		
近現代層(3層より上)	2トレ拡張	小型哺乳類未同定	大腿骨	(d-)		1		幼獣、イヌ/ネコ?
近現代層(3層より上)	2トレ拡張	ウシ/ウマ	肋骨	m		1		
近現代層(3層より上)	3トレ	鳥類/哺乳類	四肢骨	m		2		
近現代層(3層より上)	3トレ	ブタ	第5中足骨	p	L	1		
近現代層(3層より上)	3トレ	哺乳類未同定	側頭骨			1		幼獣
近現代層	3トレ	ネズミザメ科	椎骨			1		ごく大型
近現代層	3トレ	アオブダイ属	上咽頭骨		L	1		大型
近現代層	3トレ	カツオ	方骨		L	1		
近現代層	3トレ	ハリセンボン科	歯骨			1		やや大型
近現代層	3トレ	ハリセンボン科	棘			4		
近現代層	3トレ	ウミガメ	肋骨板	p		1		
近現代層	3トレ	ウミガメ	甲板	fr		4		
近現代層	3トレ	ウミガメ	四肢骨	m		1		おそらく肩帯
近現代層	3トレ	鳥類同定不可	椎骨			1		
近現代層	3トレ	ネズミ科	寛骨		L	1		
近現代層	3トレ	イヌ	上顎骨	[i-m]xm2m3]	L	1		幼獣、m2m3のみ残
近現代層	3トレ	ネコ	寛骨	R		1		
近現代層	3トレ	ネコ	脛骨	p-m	R	1		
近現代層	3トレ	イノシシ/ブタ	上顎骨	[P1xP2xP3P4]	R	1		野生イノシシの可能性もある
近現代層	3トレ	イノシシ/ブタ	脛骨	m-d	L	1	スパイラルフラクチャー	野生イノシシの可能性もある
近現代層	3トレ	イノシシ/ブタ	第4中足骨	p-(d-)	R	1	d切断	野生イノシシの可能性もある
近現代層	3トレ	イノシシ/ブタ	大腿骨	<d->	R	1		
近現代層	3トレ	イノシシ/ブタ	上腕骨	m-(d-)	R	1		幼獣
近現代層	3トレ	ブタ	頸椎			1		
近現代層	3トレ	ブタ	基節骨			1		側指
近現代層	3トレ	ウシ	下顎M1/M2			1		
近現代層	3トレ	ウシ	基節骨			1		
近現代層	3トレ	ウシ	上腕骨	d	L	1	スパイラルフラクチャー	
近現代層	3トレ	ウシ	寛骨(座骨)	臼	R	2	打割	
近現代層	3トレ	ウシ	踵骨		L	1		
近現代層	3トレ	ウシ	中節骨			1		
近現代層	3トレ	ウシ	橈骨	p	L	1	カットマーク	
近現代層	3トレ	ウシ/ウマ	尺骨	滑車切痕		1		
近現代層	3トレ	哺乳類同定不可	椎骨	椎体		1	切断	
近現代層	3トレ	哺乳類未同定	橈骨	m		1		ヤギ?
近現代層	3トレ	哺乳類未同定	脛骨	m	R	1		ヤギ?
近現代層	5トレ	ネズミザメ科	椎骨			1		大型
近現代層	5トレ	メジロザメ型	椎骨			1		やや大型
近現代層	5トレ	ウミガメ	縁骨板			1		
近現代層	5トレ	ウミガメ	甲板	fr		1		
近現代層	5トレ	イノシシ/ブタ	上腕骨	m-<d->	R	1		野生イノシシの可能性もある
近現代層	5トレ	ブタ	軸椎			1		
近現代層	5トレ	ブタ	橈骨	(p-)		1		
近現代層	5トレ	ブタ	脛骨	(d-)		1	切断	
近現代層	5トレ	ウシ	橈骨+尺骨	p	L	1	スパイラルフラクチャー	
近現代層	5トレ	ウシ	距骨		R	1		
近現代層	5トレ	ウシ/ウマ	手根/足根骨			1		
近現代層	5トレ	ヒト?	四肢骨	m		2		
表土層	3トレ西壁	アオブダイ属	上咽頭骨		R	1		
表土層	3トレ西壁	カツオ	尾椎			1		
表土層	3トレ西壁	カマスサワラ	尾椎			1		
表土層	3トレ西壁	サバ科(大型種)	鱗棘			1		マグロ/カツオ類
表土層	3トレ西壁	ウミガメ	甲板	fr		1		
表土層	3トレ西壁	ネコ	上腕骨	w	L	1		
表土層	3トレ西壁	イノシシ/ブタ	第3中足骨	p-(d-)	R	1		野生イノシシの可能性もある
表土層	3トレ西壁	ヤギ	下顎骨	[M3]	R	1	打割	
表土層	3トレ西壁	哺乳類同定不可	肋骨	p		1		イノシシ/ブタまたはヤギ?
表土層	3トレ西壁	哺乳類同定不可	肋骨	m		1		イノシシ/ブタまたはヤギ?



1 ネズミザメ科椎骨, 2 メジロザメ型椎骨, 3 アオブダイ属上咽頭骨L, 4 カマスサワラ尾椎, 5 カツオ尾椎, 6 ハリセンボン科歯骨,
 7 ヘビ椎骨, 8 ウミガメ縁骨板, 9 ニワトリ脛骨R, 10 ネコ上腕骨L, 11 イヌ（幼獣）上顎骨L, 12 ブタ軸椎, 13 イノシシ
 /ブタ脛骨L, 14 イノシシ/ブタ上顎骨R, 15 ヤギ下顎骨R, 16 ウシ上腕骨L, 17 ウシ橈骨L.
 スケールバー：10・12～17は5cm, 他は1cm.